



## 「田の草取り作業」を行いました

6月26日（金）は、昭和地区農地水環境保全会の方々にご指導いただきながら、5・6年生の子ども達が田の草取りを体験しました。実習田には、5月29日に田植えした餅米ヒメノモチが、元気に育っています。

あいにくの小雨の天候でしたが、はじめに農地水の方々からご指導いただき、今回は代表児童が水田除草機を使って除草作業を行いました。代表児童は、すぐに作業に慣れて、動きにも腰が入ってきて、なかなか頼もしい作業ぶりでした。どれがイネでどれが雑草なのか、見分け方も教えていただきましたが、大人にとってもなかなかの難問でした。

なお、実習田には、エリアを分けて、「無農薬栽培」と「特別栽培」の違いがわかるようにしたり、田に放した「コイ」「カエル」「タニシ」などの生き物たちが「アオサギ」に食べられないよう猛禽類に似せた「たこ」を設置したりして、田の生物の多様性を守ることが、良い田の環境につながるということです。

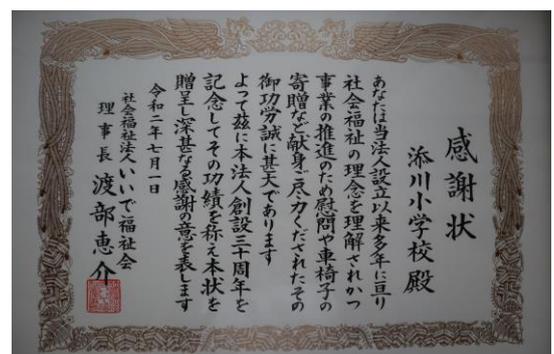
当たり前前に食べているお米が、実は大変な苦勞と工夫の末に作られていることが改めて分かる作業となりました。昭和地区農地水環境保全会の皆様、誠にありがとうございました。



## いいで福社会より感謝状をいただきました

昨日、社会福祉法人いいで福社会様より、右の感謝状を授与いただきました。創設30周年を記念しての表彰とのことで、添川小学校の今までの「ひめさゆり荘訪問」や車椅子贈呈に対しての感謝状です。児童のみなさんの今までの活動をお褒めいただきました。

社会福祉法人いいで福社会様の創設30周年、誠にありがとうございます。私共も心よりお祝い申し上げます。



# 子どもの心とことばを育てるために(その1)

先日、私(校長)が廊下で掲示物の貼り替えをしていた時、廊下を通りかかった子どもたちが口々に「手伝いますか。」と言ってくれました。なんていい子たちなのだろうと感激し、こんないい子が育っているのには、何か大切なポイントがあるに違いないと思いました。

そこで、これから時々、こんなミニコラムを書いて、子どもの心とことばの成長のあり方を探ってみたいと思います。今回はその1回目。では、始めます。

□ 「心を育てる」というと、まるで道徳の勉強のような気がしますが、もっともっとそれ以前から心は発達しています。

乳幼児期から、「子どもの心は、親の心をすり合わされて育つ」といわれています。

子どもの心は、0歳から6歳にかけて、まず「快」と「不快」から分化し、その中間の感情が複雑に育っていきます。1歳くらいまでに「興奮」「愛情」「得意」「怒り」「恐れ」などに分化するといえます。

この時、大人の表情、大人のことば、共有化できる視線等を、見て、まねすることによって、子どもの心(感情)は育っていきます。

これを、「投影同一視」といい、親(特に母親)の感情が子どもにすり合わされていくのです。そうして子どもの心は育ちます。

子どもと一緒に楽しく活動して、「楽しいね」「おもしろいね」「おいしいね」「びっくりしたね」・・・。そんな「心のことば」を共感とともにかけてあげることが、心が育てることにつながります。

「お花きれいだね」と言いながら、同じ花を見つめる親子でありたいですね。親子で同じ向きの視線のベクトルを共有して。



## 7月の予定



### 夏休み

8月6日(木)~8月23日(日)  
24日(月)が始業式です。

1	水	安全の日・全校算数テスト	11	土		21	火	ALT(中高)
2	木	ALT(高)	12	日		22	水	ALT(中高)
3	金		13	月	4年浄水場等見学	23	木	海の日
4	土		14	火	ALT(中高)	24	金	スポーツの日
5	日		15	水	PTA立哨、4年水質調査	25	土	
6	月	授業研究(6年)	16	木	ALT(高)	26	日	
7	火	ALT(中高)、PTA事務局会	17	金	PTA全体役員会	27	月	清掃強調週間、歯科検診
8	水	4年水質調査事前学習 民生委員との懇談会	18	土	添川読書の日	28	火	ALT(高)
9	木	ALT(高)	19	日		29	水	
10	金	1年心電図	20	月	4年クリーンセンター見学	30	木	通学班長会
						31	金	

### <御 礼>

寺島歯科医様、飯豊町教育委員会様よりフェイスシールドをご提供いただきました。日本教育公務員弘済会山形支部様より扇風機1台をご寄贈いただきました。また、昭和地区農地水環境保全会の皆様のご協力で、田の草取り作業ができました。皆様、誠にありがとうございました。